

MDRPとMDRAの違いは？

MDRP : **M**ulti-**D**rug-**R**esistant *Pseudomonas aeruginosa*
多剤耐性緑膿菌

MDRA : **M**ulti-**D**rug-**R**esistant *Acinetobacter*
多剤耐性アシネトバクター。

Multi-Drug-Resistant : MDRってなに？ 多剤耐性ってなに？

カルバペネム耐性：メロペネム(MEPM) or イミペネム(IPM)
(メロペン) (チエナム)

キノロン耐性：シプロフロキサシン(CPFX) or レボフロキサシン(LVFX)
(シプロ) (クラビット)

アミノグリコシド耐性：アミカシン(AMK)
(アミカシン)

緑膿菌とアシネトバクター

ブドウ糖非発酵(グラム陰性)菌であり, 広く環境中に存在.
どこにでもいる(皮膚、医療機器、器具、水回り.)

検出場所(両菌とも同じ)

環境菌

院内感染菌

湿潤環境

人工呼吸器

留置カテーテル

ドレナージチューブ

加湿器

カート

ベッド

ナースステーション

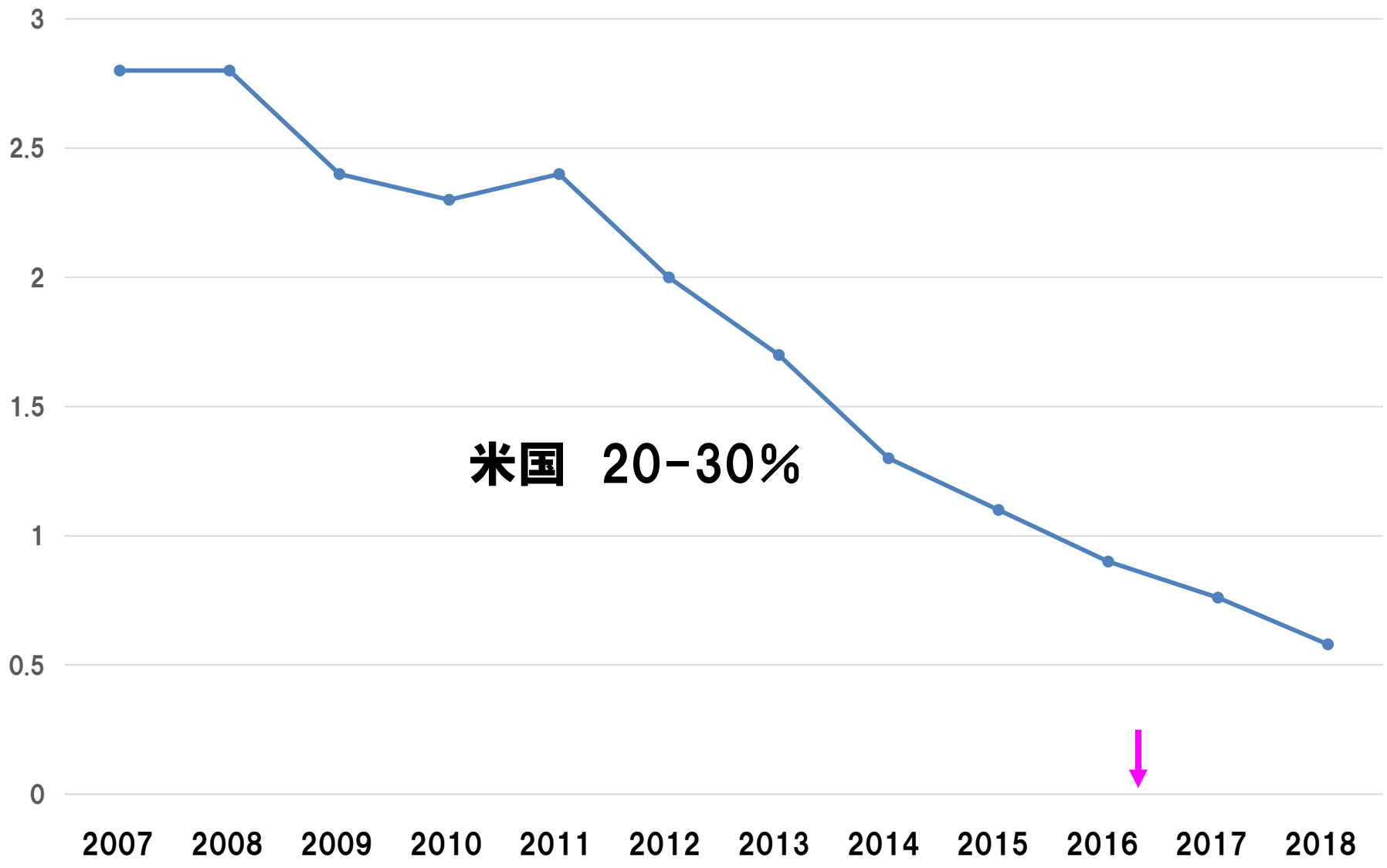
	緑膿菌	アシネトバクター
Colistin	◎	◎
Tigecycline	×	◎

カルベペネム・キノロン・アミノグルコシド (MDR) *P.aeruginosa* (JPN:MEPM)

Detection rate (%)

MDRP

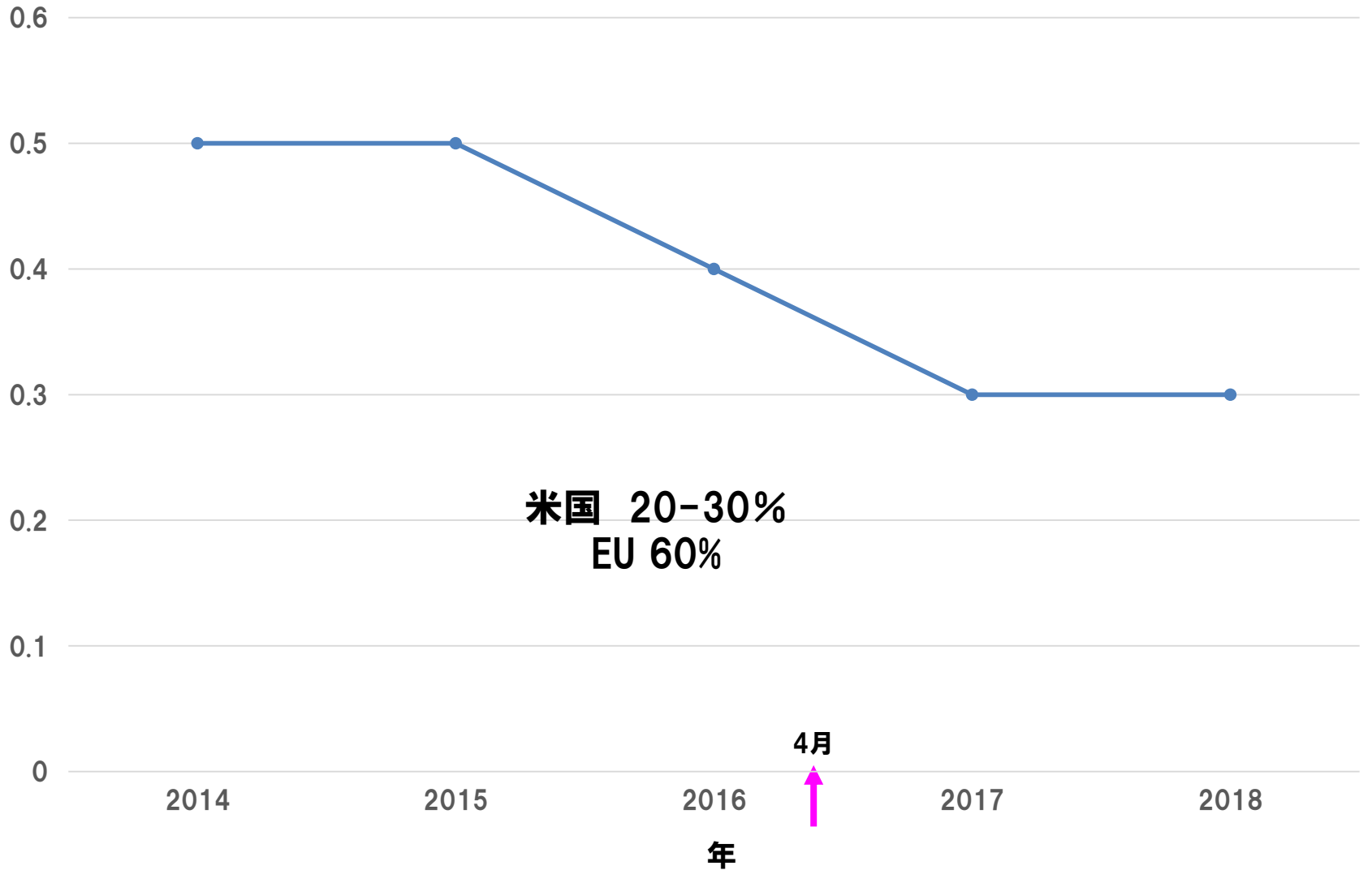
米国 20-30%



年

多剤耐性アシネトバクター MDRA JANIS 分離患者/検体提出患者

Detection rate (%)



標準的感染予防策

- ①**手洗い**: 感染源となりうるものに触れた後、手袋を外した後、つぎの患者に接するとき、普通の石鹸を使っておこなう。
- ②**手袋**: 感染源となりうるものに触れるときや患者の粘膜や傷のある皮膚に触れるとき、清潔な手袋を着用する。使用后、もしくは非汚染物や他の患者に触れるときは、手袋を外し、手洗いをする。
- ③**マスク・ゴーグル・フェイスマスク**: 体液・体物質等が飛び散り、目・鼻・口を汚染する恐れのある場合に着用する。
- ④**ガウン**: 衣服が汚染される恐れのある場合に着用する。汚染されたガウンはすぐに脱ぎ、手洗いをする。
- ⑤**器具**: 汚染した器具は、粘膜・衣服・環境を汚染しないように操作する。再使用するものは、清潔であることを確認する。
- ⑥**リネン**: 汚染されたリネン類は、粘膜・衣服・他の患者・環境を汚染しないように操作し、適切に移送・処理する。

標準予防策 (standard precautions)

血液、体液、排泄物等に
触れるとき

▼
手袋の着用※

感染性廃棄物を
取り扱うとき

▼
手袋の着用※

血液、体液、排泄物等が
飛び散る可能性があるとき

▼
手袋・マスク・エプロン・
ゴーグルの着用※

針刺しの防止

▼
リキャップの禁止
針捨てボックスに
直接廃棄する

※手袋等を外した時は必ず手指消毒を行うこと